

平成7年 国勢調査について

国勢調査とは

国勢調査は、我が国に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な統計調査で、国内の人口の実態を明らかにするために、5年ごとに行われます。

国が行う重要な統計調査は、そのほとんどが「統計法」に基づく指定統計調査として実施されており、国勢調査はその第1号に指定されていません。

調査実施の概要

1 調査の目的

国勢調査は、全国、都道府県、市区町村の人口や世帯の実態を明らかにし、国や地方公共団体のさまざまな行政施策の基礎資料として役立つ統計を提供するために行われます。

2 根拠法規

統計法（昭和22年法律第18号）及びこれに基づく国勢調査令（昭和55年政令第98号）、国勢調査施行規則（昭和55年総理府令第21号）によります。

3 調査の期日

平成7年10月1日午前零時現在です。

4 調査の対象

国勢調査では、10月1日現在、日本国内にふだん住んでいるすべての人を、ふだん住んでいる所で調査します。国内に住んでいる外国人は、国籍に関係なく、調査の対象となります。

今回の調査の対象は、約4400万世帯、約1億2500万人に及ぶと見込まれています。

5 調査項目

個人に関する項目

- ①氏名
- ②男女の別
- ③世帯主との続き柄
- ④出生の年月
- ⑤配偶者の有無
- ⑥国籍
- ⑦9月24日から30日までの1週間に仕事をしましたか（就業状態）
- ⑧就業地又は通学地
- ⑨勤めか自営かの別
- ⑩勤め先・業種などの名称及び事業の種類（産業）
- ⑪本人の仕事の種類（職業）

世帯に関する項目

- ⑫世帯の種類
- ⑬世帯員の数
- ⑭住居の種類
- ⑮居住室の数
- ⑯住宅の床面積の合計（延べ面積）
- ⑰住宅の建て方

6 調査の方法及び系統

- (1) 9月23日から10月8日までの間に、国勢調査員が各世帯を訪問して調査票を配布し、世帯で調査票に記入していただいた後回収するという方法で行います。
- (2) 調査は、総務庁（統計局）——都道府県——市区町村——国勢調査指導員——国勢調査員——世帯の系統によって行います。

調査結果の集計、公表

世帯で記入していただいた調査票は、総務庁統

計センターで「光学式マーク読取装置（OMR）」で読み取った上で、統計表が作られます。

これらの統計表は、報告書にまとめられ、図書館などで広く利用できます。

平成7年国勢調査では、速報結果が平成7年12月末までに、人口・世帯に関する基本的な結果が平成8年11月末までに公表されます。

調査結果の利用

都道府県や市区町村議会の議員定数の決定、地方交付税交付金の算定基準、都市計画区域の指定などは、法令によって国勢調査の人口を用いるこ

とになっています。

国や都道府県・市区町村における経済計画・住宅建設計画・地域整備計画などの各種の計画や、福祉対策・雇用対策・防災対策・生活環境の整備など各種の行政施策の基礎資料として利用されています。

将来人口の推計、出生率などの人口分析、地理学・社会学・経済学などの学術研究のほか、小・中学校などの社会科や地理などの学校教育の資料、会社における経営方針の決定、マーケット・リサーチ等の資料として利用されています。

(統計課・人口労働グループ)

平成7年国勢調査の集計・公表計画

集 計 区 分		集 計 内 容	産業分類	職業分類	表 章 地 域	全国結果の公表予定
速 報 集 計	要計表による人口集計	要計表による男女別人口及び世帯数の速報	—	—	全 都 道 府 国 市 区 町 村	平成7年12月
	抽出速報集計	全調査事項に係る主要な結果の速報	小分類	小分類	全 都 道 府 国 市 区 町 村 人口50万人以上の市	平成8年6月
基 本 集 計	第1次基本集計	人口、世帯及び住居に関する結果並びに高齢世帯等に関する結果	—	—	全 都 道 府 国 市 区 町 村	平成8年11月*
	第2次基本集計	人口の労働力状態及び産業別構成に関する結果	大分類	—		平成9年1月*
	第3次基本集計	就業者の職業別構成及び母子世帯等の状況に関する結果	大分類	大分類		平成10年3月*
抽 出 詳 細 集 計		就業者の産業、職業別構成などに関する詳細な結果	小分類	小分類	全 都 道 府 国 市 区 町 村	平成11年6月*
従 業 地 ・ 通 学 地 集 計	その1	従業地・通学地による人口の構成及び就業者の産業別構成に関する結果	大分類	—	全 都 道 府 国 市 区 町 村	第2次基本集計の公表の2か月後
	その2	従業地による就業者の職業別構成に関する結果	大分類	大分類		第3次基本集計の公表の2か月後
	その3	従業地による就業者の産業、職業別構成に関する詳細な結果	中分類	中分類	全 都 道 府 国 市 区 町 村 人口10万人以上の市	抽出詳細集計の公表の1か月後
小 地 域 集 計		上記の基本集計、従業地・通学地集計に係る基本的な小地域別の結果			町 丁 ・ 字 等	基本集計等の公表後速やかに

注*集計の完了した都道府県から順次公表。

あなたも統計グラフを作ってみませんか！

— 平成7年度 茨城県統計グラフコンクール —

県では、統計グラフコンクールの作品を募集しています。

このコンクールは、統計教育の一環として昭和25年度から毎年実施され、今回で46回を数えます。毎回、数多くの素晴らしい作品が寄せられ、優秀な成績をあげています。

平成7年度茨城県 統計グラフコンクール募集要領

1 目的

統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さんに資するため、県内の児童・生徒・学生及び一般県民から統計グラフを募集します。

2 主催

茨城県、茨城県教育委員会、茨城県統計協会

3 後援

茨城新聞社

4 応募資格

第1部 小学校3年生以下の児童

第2部 小学校4年生以上の児童

第3部 中学校の生徒

第4部 高等学校以上の学生、生徒

第5部 一般

パソコン統計グラフの部

小学校の児童以上・一般

5 課題

自由、但し、第1部は児童が観察した結果をグラフにしたものとします。

6 応募の方法

(1) 用紙の大きさ

第1部～第3部

B2判仕上げ寸法 (72.8cm×51.5cm)

第4部・第5部

B1判仕上げ寸法 (103.0cm×72.8cm)

パソコン統計グラフの部

B2判仕上げ寸法 (72.8cm×51.5cm)

(2) 紙質・色彩

各部とも紙質・色彩(単色でも可)は自由ですが、裏面の板張り(パネル仕上げ)、表面のセロハンカバー等は認めません。

(3) 応募点数

制限しませんが、2枚以上にわたる「シリーズもの」は認めません。

(4) 送付先

第1部～第3部

パソコン統計グラフの部(小・中学生)

・中央地区(水戸教育事務所管内)

笠間市立箱田小学校

・県北地区(県北教育事務所管内)

日立市立大みか小学校

・県東地区(鹿行教育事務所管内)

玉造町立玉造西小学校

・県南地区(県南教育事務所管内)

つくば市立東小学校

・県西地区(県西教育事務所管内)

水海道市立大生小学校

第4部・第5部

パソコン統計グラフの部(小・中学生以外)

・県企画部統計課

(水戸市三の丸1-5-38)

(5) 締切日

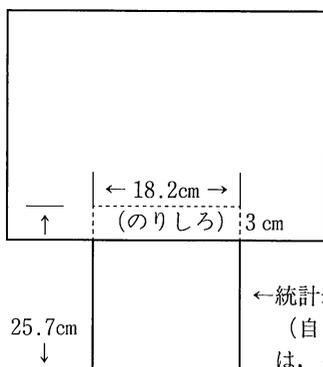
平成7年9月1日(金)

※なお、第1部～第3部、パソコン統計グラフの部(小・中学生)については学校を通じて出品することになりますので、各地区に問い合わせ願います。

7 応募上の注意

- (1) 応募作品は、自分で創作したものに限りま
- (2) 応募作品の裏面に、住所・氏名・性別・年齢・職業を明記し、氏名には必ず「ふりがな」をつけること。ただし、小・中学校の児童生徒については、別紙様式により裏面右下に添付すること。
- (3) 自己の観察によった場合は、観察記録を必ず別紙として添付すること。
- (4) 他から資料を利用した場合は、その取材資料の出所を作品表面の適宜の位置に明記するとともに、統計表及び取材資料を別紙として添付すること。

(統計グラフ表面)



例：用紙を横長に用いた場合(縦長に用いてもよい)

←統計表及び資料
(自己の観察によった場合は、その観察記録)

(5) 観察記録及び統計表(取材資料の出所を含む)はB5判(25.7cm×18.2cm)の用紙に書き、作品の裏面下に3cmの「のりしろ」で左下のように貼付すること。

(6) パソコン統計グラフについては、使用した機種・ソフト・プリンター名を作品の裏面に明記して下さい。

(7) 応募作品の合作は5名以内に限りま

8 入選作品の審査

(1) 審査員

学識経験者及び行政機関等の職員

(2) 審査方法

ア 地区審査

第1部～第3部及びパソコン統計グラフの部(小・中学生)の作品について教育事務所単位で審査します。

イ 県審査

地区審査で入選した作品と第4部・第5部及びパソコン統計グラフの部(小・中学生以外)について審査します。

9 入選区分及び賞

入選

- ア 知事賞(各部1点)
- イ 県議会議長賞(各部1点)
- ウ 県教育長賞(1～3部、パソコン統計グラフの部〔小・中学生〕各2点)
- エ 茨城新聞社長賞(1～3部、パソコン統計グラフの部〔小・中学生〕各1点)
- オ 県統計協会総裁賞(各部5点)
- カ 県統計協会賞(各部10点)
- キ 県企画部長賞
- ク 統計教育研究部長賞(1～3部各10点)

その他

- 努力賞（入選以外の応募作品）
- 優秀校賞（小学校10校，中学校5校）
- 奨励校賞（ 〃 25校， 〃 5校）

10 入選作品の発表

平成7年9月下旬に公表し，第1部～第3部，パソコン統計グラフの部（小・中学生）については，統計教育各地区部長及び所属学校長に，第4部・第5部及びパソコン統計グラフの部（小・中学生以外）については，本人あて通知します。

11 全国コンクールへの出品

入選作品中，特に優秀と認められる作品については，各部5点以内を全国コンクールへ出品します。

12 表彰，作品展示

入選作品は，茨城県統計大会会場に展示（上記ア～カ）し，表彰するとともに，巡回展示会場等（県内小中学校会場・水戸川又書店）で展示します。

13 応募作品の帰属

応募作品のうち，入選作品（上記ア～キ）の著作権は茨城県に帰属します。

14 応募等の問合せ

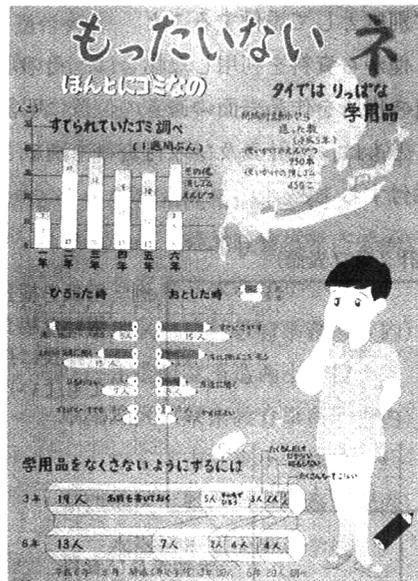
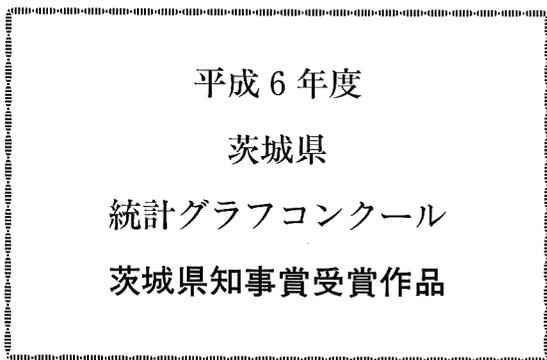
茨城県企画部統計課

☎029-221-8111 内線2652

（別紙様式）.省略

（統計課・普及指導グループ）

第1部（小学校3年生以下の児童）



関城町立東小学校 3年 藤田 知剛
〃 3年 粟野 剛

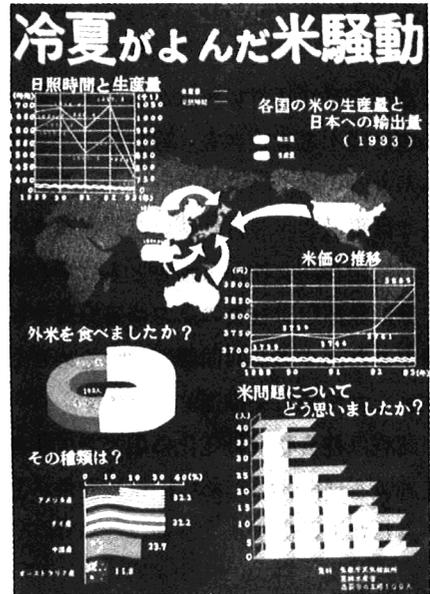
第2部 (小学校4年生以上の児童)

全国コンクール入選



結城市立上山川小学校 6年 岩崎 里香
 // 6年 高橋 由希子
 // 6年 山中 真紀子

第3部 (中学校の生徒)



高萩市立秋山中学校 3年 小林 彩
 // 3年 鈴木 直子
 // 3年 飯田 美紀
 // 3年 風祭 広美

第5部 (一般)

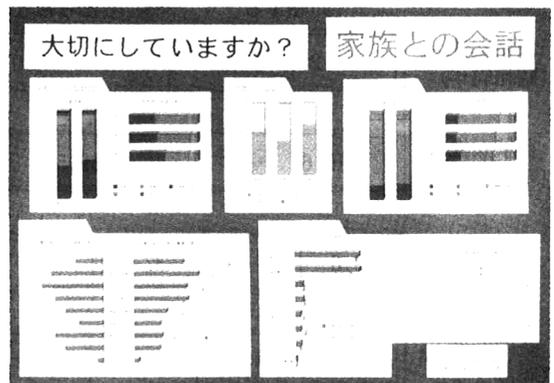
全国コンクール特選



つくば市 倉田 廣之

パソコン統計グラフの部

全国コンクール佳作



下館市立南中学校 2年 菊池 ひとみ
 // 2年 館野 千陽
 // 2年 大谷 美友紀
 // 2年 菊池 真弓
 // 2年 広瀬 美佐子